大正十四年四月十日　夕刊　四日

磐城毎日新聞

昭和一〇年八月五日　磐城毎日新聞　（火曜日）　第六千四百八十二號

關伽井風土

良吏の認識

森　忠雄

風水害そのほかの仕事でいそがしいときは、ところで「鈴木生」もなにやるのだかつたので問題だ銃後生活が本當に緊張していそがしいのなら結構だが十日分ばかり一緒にくだらん事に時間を目を通して見た。閼浪費するいそがしさなつて來やすやすで結構なことだと思ふ。各種の議論が出る所に面白い所があるのだから一方に偏したいやうにやつて貰ひ通り廻覽板と常會とが重複したり、鈴木組一般人の迷惑この上生のいふやうに徒ら會員も兼務してゐるもない。役人の暇な廻會場の役場や學校はのは却つて結構だ。に一里も二里もある。無爲にして化すが政會合させられること甚しいのは平市へ召治の要諦で、足をすも多い。その會合が集を命ぜられる。增りこぎにして歩き廻てゐる暇がないといふのだ。昔の偉いお役人は田畑に働く農民を引つくり返す事が良吏と思ふ認識は我々も改めねばならぬ。統計や表や帳簿では全くやり切れぬ。僕なんかもこの點鈴だ好いとして農村あ回數を統制して見たるが、それに墮してらどうだらう。役人しまつてはいけない根本を忘れては何もならぬ。

からころも裾にとりつき泣く子らを置きてぞ來ぬや母なしにして

（防人の歌）

□本紙一ヶ月　金六十錢
□郵　一部　賣金二錢　松金十五錢
□廣告料一行　金六十錢
□雜報　同　金九十錢
□場所指定一行　金一圓增
□電話（午）七八六番　（夜）〇八五五番
□振替口座東京　〇八五五番
□發行所　磐城毎日新聞社
□發行編輯人兼印刷人　森　合　英

踏破六百里

……楠田彦之進氏による……

岩崎敏夫

（二）

一方村の在鄉軍人分會長をしてゐるうちに最も大正天皇御即位の御親閲が宮城に行はれ、各國より參集した分會長の末席につらなつて、私もこの大いなる光榮に浴したのであつた。前々より抱いてゐた私の考が、この感激と交錯して燃え立つやうな感じ、宵森より下關までの六百里を、三十日間に馬で乘り切らうと決心したのであつた。併しまだ口にも出さず　馬の練習もしなかつた。たゞ私かに機をねらつてゐたが、當時の大體の考としては、後備後の延長とみて四十五歳に決行しよう。その頃でもまだ役に立つといふことを證明してみたい。はじめはさういふ考であつた所がはからずも大正十五年四十二歳の時、大正天皇が御崩御になる陛下の大御代のうちにと思つたのが駄目になつた。遲れてはならぬと考へたが、殘念ながらその年はどれ程もない。いよ〳〵翌昭和二年の中に決行しようと思つた。

軍隊では去勢馬を使用して居るが、この騎乘決行には去勢馬は用ひたくない。勇壯な雄馬に乘らう。他所の馬は用ひまい。幾くとも此の土地の馬に乘らう。結局此處の種馬組合の種馬に決めて用意をはじめ、調教を一個月ばかり行つた所がこの調教中のこと親の不注意で目が届かず四歳の子を死なす悲慘事に遭遇した。私は涙の中に子供の聲をきく心地がした。人間の命はふとした事で塵の上でもなくなることがある。善かれ惡かれ父さんの考へたことは斷行せねばならぬ。實際これまでには、人に笑はれはすまいが、不成功の時はどうしようと、決心のにぶることも度々であつたが、子供の死を見て心の底から決心した、生還は期する所でないいかなることがあつて失敗してもそこを終焉の地と定めて二度と歸るまい。

數回第二師團司令部に行つて打合せをとげ結局、軍隊、在鄉軍人會、其他諸團体の絶大なる後援のもとに、愛馬吉岩號と共に宵森驛廳前に立つたのは、忘れもせぬ昭和二年十月三日であつた。

△新聞經濟面の讀み方

木村孫八郎著　定價二圓五十錢　栗園書店

△支那の少年は語る　渡邊泰亮編　定價一圓五十錢　講談社

△文學論　尾崎士郎著　定價一圓五十錢　平凡社

△鄉土舞踊と盆踊　小寺融吉著　定價二圓　桃蹊書房

俳句

渡邊何鳴選

野薊集

（一）

青簾世間に遠くなりにけり　一郎
それ〳〵に國打事を押し急ぐ　仝
青簾かけていさゝか住ひよく　仝
つぎ〳〵に青蘆なびき風過る　仝
山門に蟬の來てなく夕靜か　仝
沖つ波光りてありぬ蚕豌豆　石城
綸國扇や雨ふくむ風樓にみつ　仝
麥やく火田にうつりねて暮れんとす　仝
相撲ちて土用波うねりうねり來る　無聲
麥燒くに遠く工場の煙なびく　仝
日向葵や土に敷はる〻壹の圖　仝
夏蝶や驚れて球菜畠がな　仝
卯かれて地に虻落ち翅ふるふ　仝
ケーブルの躍青々と蔦纏ふ　仝
岩かげの姫百合霧に濡れて咲く　茶迷子
高原の牧深緑に包まれぬ　仝
氷細くぬすみて足りし青田かな　夢山子
夏帽子大きくバスに乘りにけり　仝

藝能のはなし

（一）

高木稻水

藝能文花の藝能といふ熟語は「十訓抄」といふ本の中に出て來る。主として詩歌舞踊、音樂、弓、書道等をいふやうである次にその「十訓抄」中の一部を意譯して紹介して見よう。

とする藝能を以て名をあらはすことのあるのは當爲のことであるがさういふ家柄や身分で舞ひないものが、詩歌が上手だとか、管絃音樂に巧みであるとかいふやうなことから立身出世のチャンスを捉へたり思ひがけぬ名譽を得たりした例は昔から隨分

新刊紹介

異人劍法【46】

（幾無斷導戰上演上映）

車谷弘　下山望東畫

湯けむり（四）

初音のことが、あはれに思ひ出されてくる。

『昨夜のお禮も云ひたいし、遙つていろ〳〵話もしたいと、わざ〳〵かうして訪ねて來たのに、お前も薄情なおひとだねえ、ひよいと覗いたこの湯小屋にお前をみつけた時のうれしさ、幸ほかに邪魔はゐないし、妾ア胸も飛び立つばかりで、これも神樣のお陰かとそつとあなた、心の中で手を合せて泣いたんですよ……』

怨めしそうな眼眸でニツと笑ひながら脫むちいつと小梅に見つめられるよ、そのまゝ巳之助は、湯ぶねの隅に腰を下して、驅けなく

見張り番みたいに頑張られると、巳之助は湯ぶねの中に漬けられたまゝ、出ることも出來ない。

で、巳之助は、むつゝりとして、そつぽを向いた。軒下に黃いろい月の顏が、のぞいてゐる『怒つてるのかい、巳之さん』小梅は、巳之助の橫顏をみつめたまゝ、鼻にかゝる小聲で云つた。

巳之助は、その聲音を耳にするゝ、甲州路のことがふツと胸に浮んで來た。それから

なつてしまつた。

巳之助が身ぢろぎもしないので、湯の面に月がくつきり落ちてゐる。

小梅は片手で髮の毛をかきあげてゐる。

髮油の匂ひが、湯氣ににちんで漂つてくる

『ねえ』

と鼻にかゝる聲で、小梅は白齒を見せ乍ら、

『昨夜はほんとに有難うよ。救けられてこんな事を云つちやア、何だかお世辭めくけれどお前の啖呵の歯切れのよさ、妾ア胸がスーツ

とした。あの大浦の岩太郎が、グウの音も出なかつたねえ、やつぱり流石にお前だと、思ひ出した時のうれしさ何しろ昨夜はあのざまだつたし、お前はお前で商人に化てゐたから分らなかつたがねえ巳之さん、思ひがけないこの土地で、お前に逢へようとは思はなかつた。夢のやうで、嬉しくて嬉しくて、妾ア日暮になるのを待ちかねて、縁ひらく〳〵と追ひかけて來てしまつた……』

小梅はそれがテレかくしの、ほろ苦く微笑ひつゝ、

『旅から旅の渡り鳥、今ぢやアこんな見るかけもない旅藝者だが、巳之さんお前おぼえてゐよう、いへば妾の恥さらしだが、甲州でお前さんにこつぴどくふられた女さ、ねえおぼえてゐたら一度でいゝ少しやア妾の氣持にもなつておくれでないかねえ可哀想だと思つてさ、ねえ巳之さん…』

と窓を指さし、

『幸今夜は、ふたりの話を聞いてゐるのは、あのお月樣だつたひとり……』

ほんの少しでも笑つてみせてくれない巳之助のこゝろが、憎く、つれなく、味氣ない、だが巳之助は默つてゐた。

默つてそつぽを向いてゐるのだ。

『呆れたのかえ、巳之さん……』

それにも巳之助は返事をしないで立上つたきつい聲が、口惜しそうに、

『まアお待ちつ』

だが巳之助は唖のやうに、さつさと着物を抱へると、ニベもなく湯小屋を出て行かうとした。

『ちやア巳之さん、お前あくまでシラを切るにちんで漂つてくる氣かへ。コン甲州の勝沼一家にやア、確か狼煙の巳之助といふ、いゝ賭博打がゐた筈だつた……』

おでん

ヤキトリ

國町末廣　トナリ　一柳

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板、ベニヤ板、建具
織田材木商店
木羽、建築材
便利瓦一式
製材工場　平市磐越東線赤井驛前　電四九〇番（大作場）電二三五

鳩尾加壓器
鳩尾を落すこと
胃腸は丈夫に勤勞硬化が柔ぐ
一、鳩尾を落すことは千古を貫く保健の秘訣です
二、使つた其はからこれは効くぞと判るのが特徴です
製造元：東京林健醫本部
販賣所　平市古鍛冶町一〇
阿康藥局　電話四四番

磐城のおみやげ品
みやま羊羹
梨羊羹
小川郷驛前　平屋賣店

磐城セメント
小賣指定
（大谷石を賣始めました）
野内商會
平市南町
電話二一番

トンカツ
とんかつ專門の店
營業時間　午前十一時　午後十時半
一日、十七日ハ肉ナシ日
付キ休マセテ頂キマス
かの家
平市仲田町
電話四六五番

外科（內臟、整形）
肛門科、性病科
レントゲン科
上田外科
院長　上田耕作
平市南町　電一二九

砂利小賣販賣
◉長橋町三十番地へ貯藏所を設けました。容れ物御持參下されば小量でも小賣り致します。
◉五合以上の御注文は特に運搬も致します
神谷砂利店
平市白銀町　電話六六五番

內科　外科　小兒科、花柳病科
會田醫院
小名濱町上橫町

鑛泉と割烹
鐵道指定旅館
小瀧
電話（小名濱）一〇三番

產科、婦人科
醫學博士
五十嵐雄二
平市新川町　電三六九
病室增築、手術室完備

日本油脂株式會社
特約店
ペイント類、ボイール油、ドライヤー、防錆塗料、船底塗料、屋根塗料、黑板塗料、
一手販賣
㊀磐城水產工業株式會社
小名濱町築港內　電一四四

耳鼻科　咽喉科
平市綱屋町　電六五一
醫學博士　增田醫院
之

新鰹節賣出し
一本釣
魚問屋へ
平市四丁目
志賀盛榮商店
日本生命平代理店
電二一三番

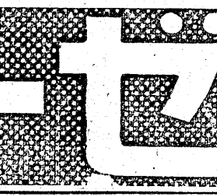
度量衡
リカハ・スマ・シサノモ
計量器
體溫計・寒暖計
販賣所
資生堂
小電名一四七番

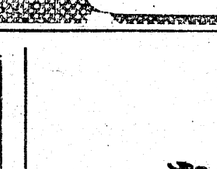
◇和文、歐文、タイプライター◇最新事務用品類◇文房具一式◇製圖並に測量用品◇謄寫板並に附屬品
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森事務用器商會
平市田町銀座街　電二九六番
仙臺振替五一〇番

ミクロゼ
全國各地藥店に有
M9
星チエーンストア支部
醫師する際に死滅し易い雜菌と異り・ミクローゼの主成分である日本固有のビルツは・生存力が極めて強く・腸用後・胃腸内でどんどん增殖し・強力な消化酵素を產生する特徵を有して居ります。——故に・効果は持續的・且つ強力であります。何よりの組織は・實證が增し・快い感通が得られることです。
郵券十錢で・五日分六十錢の試驗藥を急送す
社會式株式會社　星製藥　東京・五反田

平市新田町　電話三三番

三笠燒　羊羹
色味自慢
風味萬點
モナカ屋がお茶受御土產として始めました、どうぞ最中と同樣御愛顧を願ひます
平驛前　中央通
米屋最中店





口腔外科　齒科一般
森合齒科醫院
院長　森合芳男
植田町　電話七一番

▲男女車掌募集
平市四丁目
鈴木自動車部
電話二二七番

產婦人科　外科一般　花柳病科
黑澤醫院
醫學士　黑澤廣
【見習看護婦募集】

少名濱町小學校前　電四五

耳鼻、咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
醫學博士　高柳博明
平驛前　電三三六

漢方貼り藥
濕布で名藥
生公華
肋膜、氣管支關節、神經痛、肺炎、ロイマチス、扁桃腺、炎、ぢ疾に
二四五十錢　八圓
專賣店　平市五丁目角　山野邊藥局

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

快諾電報

落瀬大佐 市長就任

六日頃市會協議會

平市長就任を內諾した落瀬乙彥氏は健康診斷の結果引受る旨野崎議長宛次の如き電報があつた

健康其他障りなし拙者にて宜しくとあらば御引受けする決心なり右確答まで他の五名にも御傳へ乞よ

右快諾電報に基き市會協議會は六日頃開き交渉委員から佘古氏との折衝から猶瀬入佐承諾までの經過を述べ、市長推薦市會招集日を決定する

時間給水解除

團体勤勞遂に實を結ぶ

13日で

水道復舊工事は豫定の五日間で完了せず、三日に延長、青壯年隊、工作班、監視隊、救護班等前日同様午前七時出動、難關の導水鐵管接續竝り、復舊工事はセメントに依る鐵管補强工事を殘して大体了つたので同日夜の水壓監視も解除、廿三日の水害に依る時間給水も解くことになり、團体勤勞に依る尊い試練に凱歌擧つた尚セメント補强工事完了までは充分途水出來ぬ爲配水は當分加減される模樣である

勤勞の一日

歡呼擧る感激の瞬間

三日午前七時、第四區田町區員に交つて市役所構內に集合、內木副團長の號令一下整列伊藤助役さんから風水害狀況について一くさり御說明を聞き『皆さんのスコップに依つて不自由な水道が完全に通水されるやう……』と激勵の言を受け百四十余名の青壯年隊が二合のトラックに分乘現狀に向ふ、この日は豫定外招集だつたのと、日曜日に當つてゐた關係から參加者は官公衙銀行會社員等サラリーマンが多數占めてゐた古鍛冶町から久保町へ拔ける坂道へ山崩れがあつて道を防ぎ、水害の生々しい殘骸を見る雨上りの凸凹にトラックは跳ね上る、好間村へ入つて溜渦に瀕した稻、好間川の氾濫で土砂に埋れた水田の多いのに驚かされ、激甚だつた水禍を眼のあたり見て嘆息の聲が誰れ彼れの間に洩される、好間川を續斷する町田橋が無慘にも半壞流失し當時の物凄い水勢が想起されてゾッと寒氣を覺えた、吾等のトラックは好間川に左折して古河炭礦火力發電所前軌道でストップ、其處から車を捨て、各々工事復舊資材の丸太棒を一本宛肩に蜿蜒列を作つて現狀に進む、發電所近くに一軒の家屋が床下半分程水のため欠壞しながら辛ふじて潰滅を免れた幸運の家庭を祝福、現狀への途中も道路の欠壞甚しく、丸太橋を渡る機を危險な個所もあつた

◇……◇

工作班は前日に引續き副部長藤浪時康氏以下全員出動、勤續六日目である、水路監視隊も夜間勤務員と交替上野原貯水池から全線の警備に就く、救護班も鈴木正男、金成忠義二赤羽清三氏看護婦さん一名出る、大嶺市議勤勞隊慰問を兼ねて現場視察に向ひ作業に應援水道委員當番の吉田五平氏第二回目の勤務だつた

◇……◇

午前七時五十分現狀着、沼々と流れる好間川中に土俵や石塊が高く積まれ水流を一方的に遮斷、先輩が五日間に亘つて勤勞した尊い吉田五平氏第二回目の勤務だつた

◇……◇

本流架橋作業を分擔する。

現狀班は大部分河中に入つて石塊を拾ひ上げて水深と河巾を廣めるのだつたが、この日曇り勝ちだつたが氣温高く水中作業は案外樂だつた、然し革靴のまゝ水に入るもの、ヅボンを腰まで濡して平氣で働くものなど重いものは萬年筆より持たない連中が自らを忘れて眞劍に働いてゐる姿は勤勞奉仕なるが爲尊いものに思はれた、河水は恐らく日毎に減じたものと思はれるが、この日の作業狀況に照し第一、二日頃の困難だつたことが想像された足をさらはれそうな急流で腰まで水に浸りながらの架橋工事も隨分骨が折れたやうであつた、晝食後鐵管運搬に移つたが足場の悪い石塊を越へ或ひは河中に腰を沒しながら重量のある運搬作業は頗る危險も伴つたが一名の負傷者も出さず、鐵管接續には工作部員の容易ならざる苦心があつた勿論青壯年隊の協力も擧げねばならない、斯くて午後三時廿分、最難關の大鐵管接續成り瞬間一同は期せずして萬歲を呼び、歡呼と感激の拍手擧る

◇……◇

慰問袋一個を寄贈した

夏の味覺

平窪〝桃〟市場獨占

生産 五万貫突破

◇……平市平窪名産『桃』はお菓子、野菜の不足勝ちな折とて人氣を呼んで一人店頭を獨行してゐるがこのため値段も安定一ばいの卸賣一貫匁一圓八十錢小賣百匁二十五錢どころを往來してゐる、一方作柄は長雨のため水分は豐富だが日照が尠ないため甘味が幾分足りない嫌がある、然し何んと云つても期節ものだけに靑果類の王者を占めてゐる

◇……同平窪桃の收穫は例年の風水害も割合軽くて濟んだため大体昨年同樣の五萬五千貫見當と見られてゐる品種は既に天津が終つて現在水蜜「五號」が大部分を占めてゐるが「小林」もそろ〳〵出廻つて來た、これからは味覺の王「傳十郎」「雛隅」などの水蜜が市場に進出、「夏の果もの』として愛食されるであらう

災害克服に起て

特別起債で復興急ぐ

風水害に依る本縣內の損害は土木及農作物を合し三千六百萬圓の多額に上つてゐるため縣當局は復興策に萬全を期し內務農林兩省と折衝しつゝあるが、特別起債に求めて復興を急ぐことになり七、八兩日縣會協議會を招集することに內定した

煙草耕作表彰

教師四十一名にも感謝

煙草耕作組合聯合會では今四日午後一時より平市圓休事務所に優良煙草耕作團体及び三反歩以上耕作者を次の如く表彰した

【團体】一氏名は總代名－△一等、下小川村長谷川熊吉、同上小川村木村熊吉、大久村戸田常治、上小川村大平正三一〇六歩△下小川村茂木泳ぐ者は少なく、砂濱に遊ぶ浴者が多かつた一方縣聯合商業報國會では仁井田浦海岸で地引網をひき鰯鰮等の豊漁で大盛會であつた

【三反歩以上耕作者】－數字は反別－△上川村大平盛之助△二等、鹿島村小松原一さん外六名△三等、玉川村駒木根長壽さん外二十二名

久し振りの鰯小豊漁

僅かに賑ふ

土用入り後第一日の昨日曜の四倉濱海水浴場は今までに無き人出であつたが、あいにくの北風と天候不順の爲に

海水浴場

小名濱町魚市場は時化漁閑古鳥が啼く淋しさ

姐さん衆

茶殻回收献納

四倉町藝妓組合の姐さん等約三十名は去る一日の興亞奉公日に茶殻集めをなした結果四斗入叺に約八俵を町役場に託して軍部に献納の手續をした

金銀報國

廿六日から買上げ出張

平商業報國隊の例會は明五日午後六時半から同事務所に開催するが弊誌文化協會側から委員出席して商業問題に關する座談會を開く

商報隊と文協座談會

帝都を護る

警視廳警官大增募

警視廳では時局下に於ける帝都の取締り陣を强化するため全國から二千名警察官を大增募することになり、同教習所教官警部補町田宗英氏は三日來平、試驗その他準備の打合せを行つた、縣內の採用試驗は

△十六日、平警察署
△十七日、郡山署
△十八日、福島署

（何れも午前九時）

の三ケ所で施行、受驗資格は滿廿歳以上四十歳までの甲種中等學校以上卒業者、判任文官有資格者、陸海軍下士以上、同適任證書を有する者は筆記試驗免除される

試驗は作文、國語、算術の簡單な考査で教習中約四十圓給與卒業後初任月收七十圓以上で被服も官給

試驗當日志願書、履歷書を試驗場へ携行すればよい

口腔保健實踐

映画と運動方法協議

石城口腔保健實踐會では明五日午後三時から市會議事堂で常務委員會を開き、七日から行はれる「咀嚼節米と映畫の夕」に就いての打合せと今後の實踐運動の方法に就いて協議する

同會の常務委員は約二十名で總務部、調査企劃部、宣傳部、常務會計部に分れ總務部常務委員は萩原義雄氏が部長で織田豊太郎、原精一、熊田留、鈴木健太郎、志賀與市の諸氏が擧げられてをり、事務所は五丁目二八志賀與市氏方に置かれる事になつてゐる

節米講演と映画

一錢銅貨

圓寄附した

六圓卅五錢献金

平市南町原野ヨシさんは一錢銅貨を日頃貯めてゐたがこの程六圓三十五錢に達したので今四日そつくり市役所を通じて陸軍恤兵部へ献金した

豊間漁組

事務所新築

豊間漁業協同組合では豫て計畫中の組合事務所を築港地內新築去る二十八日竣功式を擧行したが、工費一千余圓を投じて漁業家の信仰厚く津守神社の修復も成り且つ優良漁船の表彰式も兼ねて三つの喜びを兼ね行つた

漁業組合事務所は工費五千圓平屋建三十五坪、從來の假住居より移轉した

江名出荷機構

ブロック制に統制成る

江名町生鮮魚介出荷統制機構計畫は、しばく變更し先收は中の作支部が獨自の立場で有限會社を設立する事に決定するなど機構上に統制を欠く怖れさい持上つたので組合幹部は單一組織の下に理想案を練り漸く成案を得た爲め二日午前中は江名組合に午後一時より中の作支部に漁業、鮮魚仲買の懇談打合會を開き一致の步調で國策に順應する事となつた

出荷統制機構の大綱は五六隻の漁船に鮮魚仲買人數名を配置しブロックとなし船主は鮮魚商に對し生活を保證すべき給料を支給し出荷統制組合下に配屬して合理圓滑なる運行を圖る爲めに江名を第一部中の作を第二部とし組合では縣の出荷命令を生産漁獲に應じ各ブロックに荷割するものである

愛婦分會長

退職慰勞案協議

分會長青沼勢以子さんの退職に伴ひ愛國婦人會では明五日午前十時から市會議事堂に役員會を開き次の件を協議する

△前分會長に慰勞金贈呈の件△記念品贈呈の件△送別會開催の件

警視廳警察官採用

採用人員　二千名
資格　滿二十歲以上四十歲未滿
試驗　作文、國語、算術ノ簡單ナル考査（甲種中等學校以上卒業者、判任文官有資格者、陸軍、海軍ノ下士以上、下士適任證書ヲ有スル者ハ筆記試驗ヲ免除ス）
待遇　教習中四十圓給與　卒業後初任月收七十圓以上、被服官給　軍隊トノ恩給通算、判任官待遇
受驗手續　試驗當日、志願書履歷書ヲ試驗場ニ携帶ノコト　◎詳細ハ當練習所、最寄警察署、警察練習所、職業指導所ニ照會ノコト
試驗期日及び場所　八月十八日　福島警察練習所　八月十七日　郡山警察署　八月十六日　平警察署

……何レモ午前九時開始……

東京市芝區田村町六ノ九ノ二　警視廳警察練習所

はづむ話で漏すな機密

防諜標語

平市慶弔錄

【出生】△平市字南町二十一番地佐藤吉雄さん△平市字材木町十八番地筒井菊次郎三男剛さん△平市字北目町百五十四番地鈴木寛二女久子さん△平市大字平窪字笹の內七十九番地坂本武雄長男一巳さん△平市仲間町四十七番地小野德治二男征二さん△平市字田町四十五番地宮川知典さん

【死亡】▲平市大字上平窪字五反田百十九番地金成登喜子（三）さん▲平市字七軒町二十五番地作山バルノ（80）さん▲平市字揚土二十四番地南有次（三）さん▲平市字三十五町目三十番地久保田英雄（六）さん▲平市字古銀冶町三十一番地岩原利忠（一）

天氣豫報

今晩　北東の風晴れたり曇つたり
明日　北東の風後南の風晴れ一時曇り模樣
（五日）滿潮前一、一五干前九、一〇後四、一〇干潮後九、一〇

銃後會寄

江名町中の作吉田九一さんは見えて茂吉の「曉紅」「不斷經」「良寬全集」「長塚節全集」その他が「宮澤賢治全集」を發見した事で、宮澤賢治の「春と修羅」などの水彩が市場に進出、「夏の果もの』として愛食されるであらう

土用稽古

五日から開始

平署では明五日から一週間同署武德殿に於て午後三時より時間柔化協會あたりで土地受ける。眞中にテーブル人の青少年に親しませるやうな方法を講じ南の壁側に壁全體をお學校の先生には宗教の「長塚節全集」その他が大須賀乙字の俳句な昔の本を讀んで見るとものだと思ふ。教育學ある。「乙字俳論集」や見した事で、宮澤賢治北の窓といふと書齋をや哲學の本ばかり讀ん「愚庵の歌」がある。先で理窟ばかりで教育さ刻のお話と一致するわ

遠藤巡査

轉勤記念に寄附

江名町駐在所遠藤定雄巡査は小名濱請願に轉勤するに當り江名銃後奉公會へ拾圓忠靈塔建設費へ五圓を寄附した

林産物

檢査所長異動

平林産物檢査所々長は次の如く更迭發表あつた。なほ日江井氏は六日午前八時廿分平驛發で赴任する

支所長　日江井劍二
縣山林課へ　原口陽平支所長

鰯後會寄

江名漁組　江名漁業協同組合では八月三日午前九時より第一校に於て組合總會を開催した

四倉署員

明五日赴任

四倉警察署より原ノ町署に榮轉の小林部長は明五日午前十一時二十四分發の列車で赴任する、尙廣田刑事係も同午前十時二十分發列車で赴任する

『入隊出來ぬ』

百圓寄附提出

平市田町の下駄屋さん吉田巳之吉さんは今四日市銃後奉公會へ『兵隊に行けぬのが殘念』と金五十圓を寄附、傷痍軍人會へも同樣五十圓寄附した

四倉警察署

明五日赴任

四倉警察署より原ノ町署に榮轉の小林部長は明五日午前十一時二十四分發の列車で赴任する、尙廣田刑事係も同午前十時二十分發列車で赴任する

『入隊出來ぬ』

百圓寄附提出

平市田町の下駄屋さん吉田巳之吉さんは今四日市銃後奉公會へ『兵隊に行けぬのが殘念』と金五十圓を寄附、傷痍軍人會へも同樣五十

藏書家の書齋拜見

足の向くまゝ（四）

意外佛教と文學の書架

廣田好氏

先生をお訪ねして見た時四十八分の汽車で四ツ倉に出掛ける所だと滿藏氏が住宅新築工事いふ。時計は四時を指してゐる。そこで早速立關に出て來た先生讀書談をと切り出すと當地方からも墨庵と乙字とかいふ和歌や俳句方面での人物が出てゐるのに私どもの取扱つてゐる中の所の奥の方だつた

山藤幣中校長は自分の家へ步きながらがかうが頻りに固辭する。それではといつて歸るわけにはゆかないから押しを强くしてとう〳〵客間にいつてゐるやうれたのが現代の中堅層で教育者はその土地の讀書家といはれる所以であらう。

ゆつくり書籍の話をする時間の無いのが殘念である。

最近は何も讀んでゐないし、人樣にお見せするやうな書齋ではありませんので……さうもありませんので……さ兎に角忙がしい中を拜見させて貰ふ事にし本や西洋文學の本でも多いのかと思つたら意外の人で磐中の英語の先生）愚庵の和歌なんかは實にわかり易いのですから是非文髮を刈つてさつぱりとして床屋から出て來た中の所の奥の方だつた

立關に出て來た先生讀書談をと切り出すと當地方からも墨庵と乙字とかいふ和歌や俳句方面での人物が出てゐるのに私どもの取扱つてゐる中

「俺の所の廣田君は本を讀んでゐるよ」丁度お宅は城山の目下野崎ツ倉に出掛ける所だと滿藏氏が住宅新築工事いふ。時計は四時を指してゐる。そこで早速立關に出て來た先生讀書談をと切り出すと當地方からも墨庵と乙字とかいふ和歌や俳句方面での人物が出てゐるのに私どもの取扱つてゐる中の所の奥の方だつた

立關に出て來た先生讀書談をと切り出すと當地方からも墨庵と乙字とかいふ和歌や俳句方面での人物が出てゐるのに私どもの取扱つてゐる中

警視廳警察官採用

採用人員　二千名
資格　滿二十歲以上四十歲未滿
試驗　作文、國語、算術ノ簡單ナル考査（甲種中等學校以上卒業者、判任文官有資格者、陸軍、海軍ノ下士以上、下士適任證書ヲ有スル者ハ筆記試驗ヲ免除ス）
待遇　教習中四十圓給與　卒業後初任月收七十圓以上、被服官給　軍隊トノ恩給通算、判任官待遇　◎採用者ニハ試驗地ヨリ東京マデノ旅費ヲ支給ス
受驗手續　試驗當日、志願書履歷書ヲ試驗場ニ携帶ノコト　◎詳細ハ當練習所、最寄警察署、警察練習所、職業指導所ニ照會ノコト
試驗期日及び場所　八月十八日　福島警察練習所　八月十七日　郡山警察署　八月十六日　平警察署

……何レモ午前九時開始……

東京市芝區田村町六ノ九ノ二　警視廳警察練習所

はづむ話で漏すな機密　防諜標語

天氣豫報　今晩　北東の風晴れたり曇つたり　明日　北東の風後南の風晴れ一時曇り模樣　（五日）滿潮前一、一五干前九、一〇後四、一〇干潮後九、一〇

【野菜】小賣値百匁　キウリ　九、錢　南瓜　八、錢　ナス　八、錢　トマト　七、錢　馬鈴薯　四、錢　玉ネギ　三、錢　四、五錢

商況

公債、債券　質物一般　三井質店　平市四丁目裏通り　電一六〇六番　太陽生命　豊國火災　平代理店

ゲーム係見習ノ方數名募集　務先　東京（眞面目な務めです）　高給デ優遇致シマス　【委細面談】…御希望の方は左記へ…　市內仲田町　井坂病院前　平撞球場內

文選女工　見習募集　高卒程度　年齢十五、六才　【希望者ハ本人來社アレ】　磐城毎日新聞社

服裝は高島屋　洋服は國民服　平市字通り二丁目　電話三八六番